

科 目 名				学 年
情報処理基礎I: Basic Information Processing I				1M
教 員 名		徳永 敦士: TOKUNAGA Atsushi		
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	90分×15回	履修	講義・後期	—
授業概要	パソコンや携帯電話などのモバイル機器が身近な存在になり、誰でも簡単に使用できる環境になっている。それらは便利さと同時に、セキュリティや著作権の問題点もはらんでいる。本授業では、パソコンの基本的な使用方法を学ぶとともに、インターネットのセキュリティやマナーについて説明する。			
	到達目標		評価方法	
(1) パソコンの構成、使用方法を理解できる。 (2) セキュリティやマナーについて理解できる。 (3) 著作権を尊重する意識を身につけることができる。			①中間試験(20%)、②期末試験(30%)、③自学自習によるレポート(50%)によって評価する。	
学習・教育目標		(B)	JABEE基準1(1)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	パソコンの使用 方法	パソコンのログイン方法。 簡単な使い方。 電子メールの使い方。	
	第2	コンピューター アーキテクチャ	パソコンの構成について説明する。 ハードウェアの名称と役割について説明する。	
	第3	コンピューター アーキテクチャ	パソコンの構成について説明する。 OSなどのソフトウェアについて説明する。	
	第4	携帯電話	携帯電話使用におけるマナーについて考える。	
	第5	個人情報の保 護	個人情報の漏えいについて学び、その管理の重要性について考える。	
	第6	インターネットと 情報の検索	膨大な情報を得ることが出来るインターネットにおいて、情報を適切に処理する能力を身につける。	
	第7	著作権と肖像 権	著作権及び肖像権について学び、著作権を尊重する意識を身につける。 ファイル共有ソフトについて考える。	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	コンピューター ウイルス	コンピューターウイルスの被害について学び、防止策について考える。	
	第10	架空請求	ワンクリック詐欺や不当な料金請求への対処について考える。	
	第11	インターネットと 悪質商法	インターネットを利用した悪質商法について考える。	
	第12	ネットショッピ ング	ネットショッピングの健全な使い方と、危険性について考える。	
	第13	なりすましや不正 アクセス	インターネットの匿名性、掲示板の利用について考える。	
	第14	パソコンと健康	パソコンを利用する際の健康被害について知る。 身体的、精神的な影響について学び、パソコンの有益な利用方法について改めて考える。	
第15	まとめ	この授業の内容について総括する。		
自学自習の内容		授業後にレポートを課し、各授業項目について理解を深める。		
関連科目				
教 科 書		なし(必要な資料を随時配布する。)		
参 考 書				
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員				
備 考				